



鹿角高校進路通信

第5号 秋田県立鹿角高等学校進路指導部

令和7年12月19日発行

各学年の活動より

本格的に冬が到来し、今年もあとわずかとなりました。今回は、秋から冬にかけて行われた様々な進路活動や進路関係行事の中から一部を紹介します。

<ふるさと企業紹介> 10月2日(木) 1年生

本校の職場定着就職支援員の山崎敏之さんから、秋田県の「成長5分野」といわれる重点産業や鹿角地域を拠点とする企業の事業内容等について紹介していただきました。

～生徒の感想より(一部)～

- ・今日の講座を通して、身近にある企業が全国や世界を相手にしているすごいなと思いました。こんなに良い企業があるのに県外に若者が流出してしまう現状が悲しいです。私は大学を出たら地元で働きたいと思いました。
- ・どの企業も、求める人材は仕事に意欲がある人や仲間とうまく関われる人であるという点が共通していると思いました。挨拶は急にはできないので、今日から元気に挨拶することを心がけたいと思いました。
- ・秋田は、農業以外はあまり盛んではないと思っていましたが、自動車や飛行機の部品を作っていることや、全国3位の風力発電導入量であることなど、誇れる産業がたくさんあることが分かりました。



<鹿角市介護人材育成セミナー> 10月22日(水) 1年生

鹿角市では、高校生が自分の進路について検討する際に介護の分野についても認識してもらいたいという趣旨でセミナーを実施しています。今年度は社会福祉法人愛生会から2名の方を講師に迎えてセミナーを実施しました。介護の仕事に関するだけでなく、介護を含めた「福祉」の考え方や重要性などについてのお話もあり、皆さんが自分の進路について考えていく上で非常に貴重な機会になったのではないかと思います。



<消費者教育講座> 12月4日(木) 3年生

8月には鹿角市から講師の方々を招き、成年として必要な関係法令知識やトラブルに遭った際の相談窓口等について学ぶ「成年教育講座」が3年生を対象に実施されましたが、今回の「消費者教育講座」では、消費者トラブルの事例や契約に関する基本的な考え方について、消費者問題等に携わっている弁護士の方に講話をしていただきました。



<就職準備セミナー>・<進路講話> 12月17日(水) 2年生

就職希望者を対象とした「就職準備セミナー」では、キャリアコンサルタントの方を講師としてお招きし、職業興味チェックテストの実施や結果分析を通して、一人一人が職業や仕事について考える際のポイント等を学ぶことができました。進学希望者を対象とした「進路講話」では、株式会社クルートから講師の先生をお招きし、具体的な入試制度などについて学ぶことができました。

就職準備セミナーの様子



<校外学習セミナー> 10月30日（木） 1年生

6つのコースに分かれて地域の企業・事業所等を訪問しました。就職か進学かといった進路希望の違いはあると思いますが、それぞれが進路に関する考えを深める大変貴重な機会になったと思います。

Aコース	株式会社田代製作所、石垣鐵工株式会社
Bコース	東光鉄工株式会社、株式会社ホテル鹿角
Cコース	株式会社ミートランド、株式会社浅利佐助商店、株式会社ドリック
Dコース	株式会社バイテックファーム鹿角、山口電機工業株式会社秋田工場、湯瀬ホテル(株式会社せせらぎ宿)
Eコース	十和田オーディオ株式会社、小坂製錬株式会社、株式会社日本ピージーエム小坂工場
Fコース	鹿角市役所、鹿角広域行政組合消防本部、鹿角警察署

～生徒の感想より（一部）～

・「挑戦せずにずっと同じことをしていても、何も経験できずに自分の成長につなげることは難しいです。挑戦して、成功や失敗をすることで、人は学んで成長することができるのです」と社長さんの言葉に、その通りだと思いました。自分を今よりさらに成長させるためにも、失敗を恐れず何事にも挑戦していきたいです。

・モノづくりとは、現代社会のすべての土台となるものを作る仕事であり、製品独自の価値に何らかの付加価値が与えられ人や社会から求められる仕事だと分かりました。また、「あらゆることに対する真面目さ、コミュニケーション力、思いやりをもち、協調性がある」という求められる人物像は、モノづくりに関わらず、どんな職業に就いても必要なことだと思い、目標にしたい人物像だと思いました。モノづくりの仕事ならではのやりがいを知ることができました。他の仕事と比べて成長を実感でき社会貢献をすることができるということ、少しずつ仕事がA1に変わっていく中でこれからの時代も求められる仕事、一生失われることのないスキルが身に付くということに魅力を感じました。これまで知ることのなかったモノづくりのやりがいを知り、実際に見学したり話を聴いたりして、モノづくりのことを知ることができてよかったと思いました。

・お話の中であった、仕事を探す、進学する、就職する上で、本当の目標は何だろうという視点で考えることを忘れないようにしたいです。嫌いなこと、苦手なことから見えることもあるという考えも、今後のことを考えていく際に大切にしたいです。

・トラックや大型車両がバックするときに鳴るアラームを世界で初めて開発したと聞いて驚きました。とても身近で日常的に目にするものが地元の企業で作られていることがすごかったです。また、工業系の製造業は男の人の仕事、という勝手なイメージがありましたが、思ったよりも女の人が働いていて、自分の偏見を改める必要があると感じました。今まで工業系の仕事にはあまり興味がなく、工場を見学したのも初めてだったので新鮮な体験でした。

・全てが高品質な商品を作ることができるのは、新しい機械を導入していたり、働いている外国の方でも注意すべきことが分かるように日本語と外国の言語でも説明していたり、常に新しい取り組みや目標を立てたりしているからだということも分かりました。しかし、このような素晴らしい取り組みをしていても、ここで働きたいと思う人がなかなか集まらないことに驚きました。また、部署によっては物を作る技術よりも人とコミュニケーションをとる力を必要とする場合もあるとのことなので、今のうちに、周りの人との挨拶や会話を心がけて、コミュニケーション力を高めて、将来に備えておきたいです。

・私たちの暮らしはいろいろな部署の人々に支えられているのだと理解しました。また、職員の方は異動になった際に新しい部署で異なる業務を覚える必要があると知り、大変な分、知識や技術も身に付きそうな職務だと思いました。

・「ありがとう」の言葉を聞くことができることや努力の結果が人のためになること、仲間とチームワークを発揮することに仕事の魅力を感じることを知り、ますます関心が高まりました。

